

1 はじめに

教育普及部会の主な活動場所は、体験型展示室「あじっば」です。何よりもまず「博物館って楽しいところ」と感じ、「モノと向き合うことはどんなに楽しいことか」「博物館とどのようにつきあえばよいか」ということを、子ども達をはじめとするお客さまに理解してもらうための空間が「あじっば」です。来室者の自由な体験—見る、聞く、触れる、作る—をお手伝いし、



(あじっば風景)

いつ来ても気持ちのいい雰囲気を作るよう努めています。現在のボランティアは39名（2期18名、3期21名）で、主婦、会社員、仕事を引退した人など、子ども大好きな集まりです。

来室者に対応すると共に、展示物の模様替えなどを行い、九博での教育普及活動の重要な位置を占め、さらに内容を充実しつつあります。

博物館を常に身近に感じてもらうよう心がけて活動をしてまいりました。

2 部会について

(1) 活動内容

部会の主な活動拠点は、博物館1階にある「あじっば」であり、ここは歴史上日本と交流のあった国々の文化や歴史に出会える施設である。見て、聞いて、触れて、作ることができる無料の体験型展示室となっている。この自由な体験をちょっとお手伝いする、またいつ来ても気持ちの良い環境を作って「また行きたくなる博物館」を目指して活動している。

- ① ひろば 各国の屋台・あじ庵・たなだ・BOXキットコーナーでの来室者対応
- ② あじぎやら 絵本の読み聞かせ・なりきり学芸員体験、なりきり考古学者体験の手伝い
- ③ フェスタ・イベントなどへの参加 年数回の各種行事などへ参加、協力

(2) 部会

毎月1回の定例会を受けて、部会を毎月1回開催。奇数月は月曜日、偶数月は土曜日と交互に開催している。館からの連絡事項、館への要望事項の協議、フェスタ等の活動内容の協議・研修、親睦企画など行う。

(3) 役員

一年交代、互選で現在は代表1名・副代表2名・書記1名

必要に応じて、館外研修実行委員会等を別途設置する場合もある。

(4) 通常の活動

通常の活動は、次のような項目で、ボランティア各人がシフト表に基づき、週1回以上、午前（9時30分から13時）または午後（13時から16時30分）あじっば内で活動している。

- ① ミーティング
(団体情報・展示替え情報・館からの連絡等)
- ② 来室者対応
- ③ 環境整備・事故防止等
- ④ 活動日誌記入・反省会・引継ぎ等



(あじっぱ内の活動)

(5) 行事への参加・協力

年に数回行われる各行事・イベントに積極的に参加して好評であった。

① きゅーはくキャラバン

館からの要請のもと、他館やイベント等に赴き、いろいろなワークショップを実施した。参加については、応募者を募り、館の指導の下実施した。出展やワークショップは、組み紐・拓本・ドンホー版画・ウズベキスタン帽子作り等で、単に九博の紹介、宣伝アピールだけでなく他館の企画を参考にしたり、ボランティアとの交流をしたりすることも含めて有意義な参加となり、ワークショップに来られたお客さまだけでなく、私たちも一緒に楽しむことができた。

平成23年度 いずみ園 (H23.10.6) 平戸市 (H23.10.29) 兵庫県立考古博物館 (H23.11.5)

平成24年度 織田廣喜美術館 (H24.8.4) 大牟田市 (H24.10.13)

山口県立萩美術館 (H25.2.17) 八女市 (H25.3.18)

平成25年度 太宰府市 (H25.10.5) 熊本市現代美術館 (H25.10.12)

兵庫県立考古博物館 (H25.11.3) 兵庫県立人と自然の博物館 (H25.11.4) 玄海少年自然の家 (H25.11.23)

柳川市三橋町 (H25.11.23)

② 館内イベント 「あじっぱ夏祭り」「子どもフェスタ」

「1000万人記念イベント きゅーはくまつり」

i 「あじっぱ夏祭り」

「あじっぱ夏祭り」は、教育普及部会単独の子ども向けのイベントで、毎年夏休み中にエントランスホールやミュージアムホールでワークショップを開催している。大勢の子ども達、親子連れなどが参加され、楽しんでもらっている。

毎回、部会内で、テーマを協議し、グループごとに企画・内容を決定。

実施するに当たり、話し合いを重ね、納得のいくまで試作を繰り返して準備をして臨んできた。

あじっぱの中にあるものを来室者に伝え、楽しさを知ってもらう為に下記のような内容を実施。

平成23年度 (H23.7.16・17)

紙で着物をつくろう！ ベトナムの版画を刷ってみよう！

韓国のお菓子の型でかたちをつくろう！ 中国のパズルであそぼう！

日本のきり絵・もんきりであそぼう

平成24年度 (H24.7.28・29)

アジアのお面をつくってみよう！ アジアのこまであそぼう！

アジアの国の衣裳を着てみよう！ 文字や文様を紙に写そう！

平成25年度 (H25.7.27・28)

花に花をさかせよう！ (文字絵) ウズベキスタンの帽子をつくろう！

まき巻きファッションとぬりえ うもれ木くんってなんだろう？（布絵本の読み聞かせと4階
うもれ木見学）

ii 「九博 子どもフェスタ」

全ボランティア参加によるイベント。展示解説部会とコラボしてのワークショップも開催。

平成23年度（H23.2.19）中国パズルであそぼう！ 和綴じ（昔の本の作り方） 人間すごろく～
わたしは遣唐使～（コラボ）

平成24年度（H25.2.24）文字や文様を紙にうつそう！ うもれ木くんに会いに行こう！（読み聞
かせと展示ツアー・コラボ）

平成25年度（H26.2.23）タングラムであそぼう！ 文字や文様を紙に写そう！

iii 「1000万人記念イベント きゅーはくまつり」平成24年度（H24.10.20）

いろいろな部会が出展する中、「拓本づくりとアジアの国の衣裳を着てみよう！」を実施。衣裳はウ
ズベキスタン、モンゴル、韓国のもを出す。子どもだけでなく大人の人にも体験していただき、喜ん
でもらえた。



（子どもフェスタ タングラムで遊ぼう！）



（夏祭り まき巻きファッション）

（6）研修

①館内研修

研修は、館より年数回ボランティアにテーマを決めて実施されたほか、館の支援を受け、部会後に学
習会を兼ねた研修を計画・実施した。参加は自由であり、講師は、交流課池内氏の協力を得、屋台の国々
についての知識を深めることができた。これは、今後も時間のある限り続けたいと考える。内容として
は、下記のことを行った。

- i ガムランについて（理論と実際） インドネシアの影絵ワヤン・クリについて
ベトナムの水上人形について

②館外研修

館の研修制度を活用して次の館外研修を、あじっばでの活動に役立たせるよう企画・実施した。

- i 23年度（H23.1.18）・・・いのちのたび博物館・直方谷尾美術館・王塚装飾古墳館
- ii 24年度（H24.11.25）・・・芦屋釜の里・宗像大社及び宝物殿・海の道むなかた館
- iii 25年度（H25.11.13）・・・豊前方面（みやこ町歴史民族博物館・豊前国分寺・求菩提資料館）

③部会内のグループ活動

あじっばにあると、より子ども達が楽しめ、博物館っていいなと思えるようなものを考え、館に企画

書を提出し、参加者を募り、製作・展示をした。

i 「うもれ木くんの布絵本づくり」

あじっばに展示してあるうもれ木について、子ども達に分かりやすく説明し、4階の展示室に興味を持ってもらうためには、何がいいか考えた時、部会員の中の布絵本作り体験者を中心に企画・製作し、現在、あじっばに展示中である。2冊作り、1冊は、展示、もう1冊は他館へのワークショップなどに使用している。また、この布絵本を使って、「うもれ木くんに会いに行こう！」のワークショップも開くことができた。

ii 「あじっばの木」

あじっばに来室した子ども達が感想を書いた木の葉っぱを展示する為の布のタペストリーを製作・展示。クリスマスバージョンもある。

iii 「さげもんづくり」

2月になるとあじ庵には、お雛様が飾られる。その横に飾られるさげもんを2期の方中心に製作。3期も作り方を伝授してもらったのでこれからも製作し、みんなが楽しめるように増やしていきたい。



(館外研修 芦屋釜見学)



(布絵本 うもれ木くん)

3 おわりに

2期部会員は6年間の活動を終わられます。又、3期部会員は3年間の活動を終え引き続き継続する者もおります。4月からは4期の新部会員を迎えることとなりますが、3期部会員は3年間の活動の経験を活かし、新部会員には新しい風を入れられるよう、互いに切磋琢磨して資質の向上を目指して、来室者に好まれるボランティアに成るべく努力していきます。

来年度からは1・2期が企画実施したものをさらに充実したものに、不足しているもの又は新しいものを企画し、来室者に興味をもって楽しんで頂けるよう努めていきます。